

MemsONE 無償貸出し版のご利用手順について

2012/04/01

一般財団法人マイクロマシンセンター

MemsONE サポートセンター

■ 貸出条件

MemsONE の普及を目的として、無償で貸し出すものです。貸出しに於いては、次の条件への同意が必要です。

- ①別紙 1 の「MemsONE ソフトウェア使用許諾条件書」に同意されたものとします。
- ②ご使用後に行う「使用評価アンケート」への協力を義務つけるものとします。
尚、本アンケートへの回答は、発行ライセンス数件お願いします。
- ③MemsONE クラブに入会（入会費無料）いただくものとします。
- ④使用期間は 3 ヶ月間を基本とし、期間の最終は平成 24 年 12 月 20 日までとします。
- ⑤貸出すバージョンは機能制限無しのフルセット（研究版相当）とします。

■ インストール PC のスペック

インストールする PC の最少スペック詳細については、次の URL でご確認ください。

URL : <http://www.mmc.or.jp/mems-one/> 「MemsONE ひろば」ページの「リリース情報」→「対応ハードウェアのスペック」を参照。

尚、小規模のモデルでの検証であれば、下記のスペックでも可能です（①、⑤は必須）。

- ①OS : WindowsXP SP2 以降（必須）、WindowsVista SP1 以降（必須）、Windows7
- ②CPU : PentiumIV 相当以上（1.5GHz は欲しい）、32bit/64bit
- ③メモリ : 1G 以上
- ④HDD : 空き容量 10Gbyte 以上
- ⑤グラフィック : Open-GI/3 次元対応ボード装着（必須）

■ インストール時の注意点

インストール時には、下記の点に留意ください。

- ①解析規模に応じたスペックの PC をご使用ください。
- ②DVD に内包の「はじめにお読みください」および「リリースノート」を必ずお読みください。
- ③インストール前に、DVD 内包の「MemsONE 導入手順書の第 1 章」に従い、PC 環境の確認と設定をしてください。
- ④インストールは DVD 内包の「MemsONE 導入手順書」に従って作業ください。
- ⑤インストール画面の最終ステップ「完了（必須）」で“環境変数設定エラー”が発生した場合は、手動で設定してください。
- ⑥最後に必ず「再起動」をお願いします。

■ パッチ当てのお願い

MemsONE Ver5.0 版に対する一部更新が必要です。このため、インストール後にパッチ当てをお願いします。パッチファイルのダウンロードおよびパッチ当ての方法は、以下の通りです。

1) COM 連携用パッチ

本パッチは、初めて MemsONE をインストールした PC の場合は必須です。

①ダウンロード方法

下記 URL : 「MemsONE ひろば」より、

URL : <http://www.mmc.or.jp/mems-one/> の「サポート情報」→「アップデート情報のお知らせ」

→「MemsONE Version5.0 用パッチ」下にある、No1「set_com_regist」をダウンロードし、MemsONE がインストールされている PC の「C:¥TEMP」下に置いてください。

②パッチ当て方法

set_com_regist.lzh を解凍後、フォルダ内の set_com_regist.txt を必ずご一読ください。

set_com_regist.bat をダブルクリックすると、DOS プロンプト画面が開かれコピー処理が実行されます。処理最後に enter を押せばパッチ処理が完了します。

2) 機能改善パッチ

①ダウンロード方法

下記 URL : 「MemsONE ひろば」より、

URL : <http://www.mmc.or.jp/mems-one/> の「サポート情報」→「アップデート情報のお知らせ」
→「MemsONE Version5.0 用パッチ」下にある、No2「patch_V5.0_xx」をダウンロード。置き場所は何処でも構いません。

②パッチ当て方法

patch_V5.0_xx.lzh を解凍後、フォルダ内の patch_V5.0_xx.txt を必ずご一読ください。

patch_V5.0_xx.bat をダブルクリックすると、DOS プロンプト画面が開かれコピー処理が実行されます。処理最後に enter を押せばパッチ処理が完了します。

■ ユーザ情報ファイルの作成およびライセンス登録方法

MemsONE をインストール後に、デスクトップにある「licensetool アイコン」を立上げ、ユーザ情報ファイル「user_info」を作成して、ライセンス申請を行い、入手した「license_info」を登録することで、初めて MemsONE が起動できます。

本手順については、DVD 媒体に内包の「MemsONE 導入手順書」に従って下さい。

■ ライセンスの申請方法

ライセンスの申請は、URL : <http://www.mmc.or.jp/mems-one/> 「MemsONE ひろば」の「ライセンス申請」より E-mail を立ち上げ、ユーザ情報ファイル「user_info」を添付して送信をお願いします。尚、顧客番号は DVD 媒体のシールを参照下さい。

■ お問い合わせ先

一般財団法人マイクロマシンセンター

普及促進部 MemsONE サポートセンター

担当：水津美晴

TEL: 03-5835-1870 FAX: 03-5835-1873 E-mail: mems1-user@mmc.or.jp

以 上

MemsONE ソフトウェア使用許諾条件書

一般財団法人マイクロマシンセンター

(定義)

第1条 本契約書において、次に掲げる用語は次の定義によるものとする。

- 一 「本ソフトウェア」とは、別紙「MemsONE ソフトウェア頒布確認書」に記載のソフトウェアおよび関連資料をいう。
- 二 「使用権」とは、第3条第2項に定める指定システムにおいて甲が本プログラムを使用する権利および関連資料を使用する権利をいう。

(本ソフトウェアの権利)

第2条 本ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、乙又は本契約に基づき甲に対して使用許諾を行うための権利を乙に認めた原権利者に帰属するものとし、甲は本ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとする。

(使用権の許諾条件)

第3条 乙は、次の各項を条件として本ソフトウェアの譲渡不能かつ非独占的な使用権を甲に許諾するものとする。

- 2 甲は、本ソフトウェア1ライセンスにつき、任意の1時点において甲の占有する機器1台（以下「指定機器」という。）のみにインストールのうえ使用するものとする。
- 3 甲は、指定機器を変更する場合、事前に文書により乙に通知するとともに、変更前の指定機器にインストールされた本ソフトウェアを消去するものとする。
- 4 甲は、いかなる場合にも関連資料を複製してはならないものとする。ただし、電子媒体にて提供される関連資料については、甲は1部に限りこれを印刷物として複製することができるものとする。
- 5 甲は、本ソフトウェアおよびその複製物を、善良なる管理者の注意をもって使用、管理するとともに、これらを第三者に譲渡、転貸または開示してはならないものとする。
- 6 甲は、乙の文書による事前の承諾がない限り、本ソフトウェアを改造し、または他のソフトウェアと結合してはならないものとする。
- 7 甲は、本ソフトウェアをソース・コードに変換するための逆アセンブル、逆コンパイルその他の行為を行ってはならないものとする。

(使用期間および価格等)

第4条 別紙「MemsONE ソフトウェア頒布確認書」のとおりとする。

(免責)

第5条 本ソフトウェアの使用結果およびその運用管理については、甲がその責を負うものとし、その結果生じた甲の損害または第三者からのクレーム等については、乙はその責を負わないものとする。

- 2 不可抗力その他乙の責に帰すことができない事由による本契約の全部または一部の履行遅滞、

履行不能については、乙はその責を負わないものとする。

(第三者の権利侵害)

第6条 乙の責に帰すべき事由により本ソフトウェアが第三者の著作権または特許権等の権利を侵害した場合は、乙は、乙の判断に基づき、次の各号のいずれかの措置をとるものとする。

- 一 権利侵害している部分の変更
- 二 甲が継続使用できるよう第三者から権利を取得

(不正行為等に対する措置)

第7条 甲および乙は、相手方が本契約書記載の各条項に違反する行為を行ったときは、その是正のために必要な措置を講じることができるものとする。

(秘密の保持)

第8条 甲および乙は、相手方の文書による承諾なくして、本契約に関連して相手方から開示された技術上、業務上その他の秘密を、次の各号に該当する場合を除き、第三者に開示、漏洩してはならないものとする。

- 一 開示を受けた時点において、既に公知となっているもの
- 二 開示を受けた時点において、開示を受けた当事者が既に保有していたもの
- 三 開示を受けた後、開示を受けた当事者の責に帰すことなく公知となったもの
- 四 開示を受ける前に、正当な権限を有する第三者から適法に取得したことを証明できるもの
- 五 書面により事前に開示につき相手方の同意を得たもの

(協議)

第9条 本契約に定めのない事項または本契約の履行に疑義を生じたときは、甲乙誠意をもって協議し、円満解決を図るものとする。

(管轄裁判)

第10条 本契約に紛争が生じたときは、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

以上